

市民の皆さまへ

今回の8月9日から続いた大雨によって亡くなられたかたがたに心より哀悼の意を表しますとともに、被災されたかたがたにお見舞いを申し上げます。

これまでに福津市では経験したことのない大雨は、河川の氾濫や内水氾濫による道路の冠水、家屋や自動車、家財などへの浸水、土砂崩れ、道路や橋梁の損壊、農地への土砂の流入など、皆さまの日常生活に大きな爪痕を残すことになりました。

復旧作業は一朝一夕になすことはできませんが、行政の手が届かない範囲では、災害ボランティアのかたがたにお力添えいただいたことを厚くお礼申し上げます。

行政としても、被災されたかたがたが一日でも早く元の生活に戻れるよう、寄り添った支援ができるよう努めます。また、9月8日付けで福津市に災害救助法が適用されることとなりました。福津市といたしましては、国や福岡県と連携し、被災された市民の皆さまへの生活支援に全力を尽くします。

今回の災害時、地域の皆さまが助け合う姿を見聞かしています。いざというときにまず身を守ることができるのは自分自身の行動であり、周囲の人々の行動です。市民の皆さまには、改めて自助と共助の意識を高め、それぞれのご家庭や地域での災害時の対応を再確認し、万が一に備えていただきますようお願い申し上げます。

福津市長 福井 崇郎



備える力、守る力

—令和7年8月豪雨の被害と災害への備え—

8月9日から降り続いた大雨で、市内各地で浸水や道路の通行止め、土砂崩れなどが発生しました。災害はいつ、どこで起きるか分かりません。いざというときに身を守るために、日ごろから備えておくことが大切です。

問い合わせ 市防災安全課 ☎0940・43・8107

**福津市では未曾有の大雨
日常生活に大きな影響が**

8月9日から続いた大雨では、短時間に降雨が集中したことで、市内各地で住宅や道路、農地に浸水や土砂崩れが発生しました。市内では床上浸水41棟、床下浸水23棟（8月末現在）が確認され、道路の通行止め10路線、多数の土砂崩れなど、日常生活に大きな影響が出ました。

**8カ所の避難所と
被害相談窓口を開設**

市では、皆さんの安全を第一に考えて災害対策本部を立ち上げ、健康福祉総合センター「ふくとぴあ」をはじめとする8カ所の避難所を開設しました。延べ94人が避難し、市職員や関係機関が連携しながら、避難者が安心して過ごせるように運営に努めました。

また、災害直後には被害相談窓口を設けました。り災証明書は8月末までに64件を交付し、災害見舞金支給や各種税の減免など、被災したかたがたの生活を支える取り組みが続けています。

**生活再建を後押しする
多くの災害ボランティア**

今回の災害時には、消防団宗像地区消防本部・福岡県警察陸上自衛隊、市商工会青年部をはじめ、多くのボランティアの皆さまが活動してくれました。浸水家屋での片付けや土砂撤去などで、市民の生活再建を力強く後押ししてもらいました。力を合わせて助け合う姿は、市民の皆さまの大きな支えとなり、生活再建への前向きな動きにつながっています。

備えや防災意識が命を守る

今後も台風季節は続きます。今回の経験を生かし、いざというときに安心して行動できるよう、家庭での備蓄や避難場所、避難経路の確認をお願いします。市では、防災訓練の実施やLINEなどのSNS、スマホサイト集「防災すまっぽん！」での情報発信などを通して、皆さんの安全を守る取り組みをより一層進めていきます。備えや防災意識が大切な命を守ります。今回の教訓を生かし一人一人が日頃から防災意識を持ち、地域で支えあえる体制を作っていきましょう。

11月に福津消防署が移転します

消防職員だけの消防署ではなく「開かれた消防署」にしたい

今の福津消防署は西福間にありますが、11月に手光に移転することとなります。そこで私は、新しくできる消防署を「開かれた消防署にしたい」と考えています。今の消防署には講習会を行うスペースやその駐車場がありませんが、新しい消防署には講習会を行うスペースや、ヘリコプターが離着陸できるほどの広い敷地を確保しています。市民の皆さんには防災講習や施設見学などで消防署を身近に感じてもらい、皆さんのニーズに応えられる消防署にしたいと思っています。また、広い敷地を確保して、消防団の皆さんと一緒に訓練を行うことができるので、より密接な連携ができるのではないかと考えています。消防職員のためだけの消防署ではなく、市民の皆さんに還元できるよう、市民の皆さんの消防署であり続けたいと思っています。

福津消防署
署長 中垣広和



▲新福津消防署イメージ

福津消防署庁舎落成式&市民開放イベントを開催

福津消防署庁舎落成式

テープカットなどの式典を行います。

日時 11月1日(土)午前9時から30分程度

場所 福津消防署(手光 中央公民館から200m西側)

福津消防署市民開放イベント

庁舎見学や車両展示、抽選ではしご車試乗体験、数量限定で消防カレーを楽しむことができます。子ども用防火衣・救助服の試着もできます。参加無料です。詳しくは宗像地区消防本部ホームページをご覧ください。



日時 11月1日(土)午前10時～午後2時

※少雨決行、雨天時は内容一部変更あり

場所 福津消防署(手光)

消防団員募集集中!!

災害時、地域で頼りになる存在が「消防団」です。消防団は、地域に住む私たち自身が、自分たちのまちを守るために活動する地域防災のプロ集団です。火災や自然災害時だけでなく、日々の防火啓発など、まちの安全を支える活動をしています。

あなたの「地域への思い」がかけがえのない力になります。地域のために、できることから始めてみませんか。気軽に市防災安全課に問い合わせてください。

消防団・消防署合同火災防ぎょ訓練を実施

消防団と消防署の連携強化と地域住民の防火意識を図ることを目的に火災防ぎょ訓練を実施します。消防団と消防署の迅速かつ的確な消防活動をぜひご覧ください。また、訓練前に消防車両の展示と放水体験を行います。消防車両と一緒に記念撮影をしてみませんか。

消防車両展示・放水体験

日時 11月15日(土)午後6時～午後7時15分

※放水体験は午後7時受付終了

場所 あけぼの1号公園

火災防ぎょ訓練

日時 11月15日(土)午後7時30分～午後8時30分

場所 あけぼの、津丸公民館周辺



▲昨年の火災防ぎょ訓練で放水する消防団員

11/8
(土)

福津市一斉防災訓練を実施

市一斉防災訓練に参加してください

市一斉防災訓練は、市全域に影響を及ぼす可能性のある地震を想定して、毎年11月5日「世界津波の日」直後の土曜日に、全市民を対象とした防災訓練を行っています。今年は11月8日に実施する計画です。西山断層を震源とした地震の発生を想定し、シェイクアウトから地域の避難所集合点呼を行う全市民が対象の必須訓練と、各郷づくりや各自治会が独自で創意工夫して実施する任意訓練の2部構成となっています。令和6年度は、シェイクアウト訓練の3つの安全行動(画像提供:効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議)



今回の訓練の方向性

必須訓練の参加者が9千人、任意訓練の参加者が3千人を超えました。皆さんの訓練参加により、市全域の防災意識の高揚と有事の際の自助、互助の啓発を継続しています。熊本地震、能登半島地震や九州北部豪雨などさまざまな災害から得た教訓として、被害をできるだけ少なくするためには、自分と家族の命は自分たちで守る「自助」と、皆で助け支えあう「共助」を実践していくことが大切です。特に地震発生時、まずは自分が無事であることが最も重要です。実際に、阪神・淡路大震災で救出された人の97.5%は「自助」または家族や友人・隣人などの地域住民の「共助」によるものでした。一斉訓練における「必須の訓練」は、各家庭や地域、学校、事業所などで情報の把握の仕

方や自分の身を守る訓練を行うことを目標とします。

必須の訓練 (自助・共助の訓練)

自助訓練

災害時、自分自身や家族の安全を守るために必要な知識・技術・装備を身に付ける訓練

共助訓練

地域住民が協力して、災害に備え、助け合う訓練

訓練当日の動き

【想定する災害】

◆西山断層を震源に震度6強、マグニチュード7.3の大规模な地震が発生

◆老朽家屋や塀が崩れ、ライフラインや道路、通信網寸断

当日の午前8時45分に防災行政無線による放送および緊急速報メールや防災メールまもるくんの配信で災害が発生したことをお知らせします。各家庭や地域などで訓練を開始してください。

ふくつ防災士会の野中博文会長に聞いてみた

100円ショップで始める!「わが家の防災」非常持ち出し袋

◆非常持ち出し袋の3つのポイント

いざというときに慌てないために日頃から「非常持ち出し袋」を備えておくことが大切です。非常持ち出し袋のポイントは「リュックに入れてすぐに持ち出せるようにしておく」「家族構成や健康状態に合わせて内容をアレンジする」「定期的に中身を見直す」の3つです。

◆はじめの一步を「100円」から

「何をそろえたらいいかわからない」「お金がかかりそう」というかたにお勧めなのが、100円ショップでそろえる防災グッズです。実は、100円ショップでも災害時に役立つアイテムが手軽に手に入ります。大切なのは「完璧に備えること」ではなく、できることから少しずつ備えることです。まずは100円ショップに立ち寄って、防災グッズコーナーをのぞいてみませんか。

カテゴリ	100円ショップで購入できる商品例
照明	サイリウムライト、懐中電灯、ランタン、ろうそく、乾電池、ヘッドライト
衛生	ウェットティッシュ、汗拭きシート、シャンプーシート、簡易トイレ、ばんそうこう、タオル
食事	飲料水、給水パック、紙皿、紙コップ、割りばし、ラップ、アルミホイル、缶詰め、缶切り、保存袋
その他	ブランケット、アルミシート、カイロ、笛、大きなビニール袋、レインコート、ロープ

